



高崎経済大学地域科学研究所 ニュースレター No.23

目次	所長挨拶	(1)
	事業報告① 第40回 公開講座	(1)
	事業報告② 第6回 地域経営セミナー	(2)
	事業報告③ 第15回 地域めぐり	(3)
	事業報告④ 公開シンポジウム	(4)
	地域科学研究所動静	(17)
	編集後記	(17)

所長挨拶

本ニュースレターには、高崎経済大学地域科学研究所の事業のうち、第40回公開講座、第6回地域経営セミナー、第15回地域めぐり、公開シンポジウム「『ものづくりシティ』高崎の躍動」についての実施概要等を掲載いたしました。是非、ご一読ください。

市民の皆さまには、今後とも、当地域科学研究所の事業に積極的にご参加いただくとともに、より一層のご理解とご協力を引き続きお願いする次第です。

所長 佐藤 徹

事業報告① 第40回公開講座

第40回公開講座

「現代社会への多面的アプローチ」

第40回公開講座は、前年度に引き続き、対面またはオンラインのいずれかで受講できるハイフレックス方式で別掲のとおり実施しました。受講者93名の内、53名が7回以上出席され、修了証が手渡されました。受講生の方々は、熱心に受講され、講師へ積極的に質問をされていました。

《第40回公開講座》

①10月16日

若林 隆久所員 (地域政策学部准教授)

「ChatGPTなどの電子ツールを用いた教育・実務」

②10月24日

佐藤 和宏 所員 (地域政策学部准教授)

「持家社会の現在と今後」

③10月31日

矢野 修一 所員 (経済学部教授)

「「グローバルサウス」とどう向き合うか」

④11月6日

加藤 健太 所員 (経済学部教授)

「岩倉使節団と津田梅子」

⑤11月9日

寺田 光成 元特定研究員

(元地域政策学部特命助教)

「町内会の役割とこれから：町内会間に住みながらの実践」

⑥11月14日

井上 真由美 所員 (経済学部准教授)

「渋沢栄一と商業教育」

⑦11月21日

森 祐司 所員 (経済学部教授)

「ライフプランニングと資産形成
～投資についての基礎知識と課題～」

⑧11月29日

安田 慎 所員 (地域政策学部准教授)

「COVID-19以後の観光政策」

㊦12月7日

服部 昌彦 所員（経済学部准教授）

「イノベーターのジレンマ

ーイノベーションを起こすのは誰か？ー」

㊧12月13日

友岡 邦之 所員（地域政策学部教授）

「地方でアートを育む意義とその方策」



<第40回公開講座の様子：講師 友岡 邦之所員>

事業報告② 第6回地域経営セミナー

第6回地域経営セミナー「自治体のDX化」

高崎経済大学地域科学研究所は、公立大学のシンクタンクとして、広く群馬県の自治体行政にも寄与するべく、企画・運営を実施している。その一つとして、自治体職員向けの研修講座として「地域経営セミナー」を開催してきた。2023年度は、世界的なデジタル化を踏まえ、地域経営セミナーのテーマを「自治体のDX化」に設定し、2023年11月27日（月）14:00～16:00に高崎経済大学図書館ホールでハイフレックス方式にて開催した。参加者は、8つの自治体から、19人であった。

今年度のセミナーでは、自治体のDX化で先進的な東京都からデジタルサービス局サービス開発担当部長の荻原聡氏をお招きし、「東京都庁におけるDXの取り組み」をテーマに基調講演を頂き、その後に総合討論を行った。コメンテーターは、高崎経済大学地域政策学部の山本匡毅が務めた。

荻原氏からは、東京都庁のDX化について、詳細な報告があった。報告の要点として、まず、東京都のDX化の目的は都民のQOL（Quality of Life）向上であり、このミッションの下で、例えば、各局のDX支援を通じて、都庁のQOS（Quality of

Service）向上や、デジタルの力で東京のポテンシャルを引き出すことを通じて、都民が質の高い生活を送るために、都庁内の改革を進めているとした。DX化は都庁だけでは十分でないため、政策推進団体として一般財団法人 GovTech 東京を設置し、DX化の両輪となっている。2019年にはTOKYO Data Highwayを掲げ、5Gの普及も目指し、スマート東京（TOKYO Data Highway、街のDX、都庁のDXの3本柱）の実現を目指している。かかるDX化を推進するために、東京都では特定任期付職員、ICT職（2021年度開始）の登用を始めている。さらに行政職員の能力発揮のために、デジタルスキルマップを作成し、人材確保と人材育成（東京デジタルアカデミー）を進め、人材確保を行ってきたとのことであった。この他、スマートシティ、都庁DXアワードなどのお話も頂いた。



<第6回地域経営セミナー 荻原 聡氏>

総合討論では、参加者から質問を出して頂いた。例えば、デジタルを使えない層にどのように対応するのかという点には、伴走型支援を行うこと、組織の意思決定をどのようにしているかという点では、Teamsを使う工夫をしており、チャットなどを使いつつ、最終的には局長、副知事（元Yahoo会長）が行っているとのことであった。他にも多くの質問があり、活発な意見交換を行うことができた。

セミナー終了後には、対面での参加者と荻原氏の間で名刺交換が行われ、群馬県内自治体と東京都庁のネットワーキングをすることができた。その成果として、参加自治体の一つが東京都庁にアプローチし、DX化に関する視察のアポイントメントを取ることに繋がった。

本セミナーでは、東京都庁を事例として、議論を進めた。東京都は日本で最大の自治体であり、群馬県内の自治体がすべてを模倣することは困難である。今回のセミナーの開催意図の一つは、群馬県内自治体の職員が先端のDX化を知ることで、危機感を醸成するとともに、自治体職員自らができることからDX化を進めることであった。今回のセミナーで意図のすべてを実現できたとは言えないものの、一部の自治体が東京都庁へ行くことになったことから現れているように、県内自治体のDX化に対する問題意識を高めることにつながったのではないかと考えられる。

山本 匡毅 (地域政策学部教授)

事業報告③ 第15回地域めぐり

第15回地域めぐり

「宿場町・倉賀野を見る、歩く

～身近な街の歴史探訪～

2023年12月9日(土)、今年度2回目の地域めぐり「宿場町・倉賀野を見る、歩く～身近なまちの歴史探訪～」を行いました。

中山道と例幣使街道が合流する倉賀野は、中山道の宿場町として栄えた歴史があります。さらに烏川を用いた舟運の中心地でもあり、倉賀野河岸は物流の中心地として大いに栄えました。ただ、多くの宿場町がそうであるように、倉賀野もまた今日では一見しただけでは、そうした歴史的背景に気付くことは難しい状況です。ただ、多少の予備知識を入れたうえでよくよく現地を観察すると、実は今でも往時の様子を感じることができる場所でもあります。そうした地域の歴史や文化を「再発

見」する楽しさを知ってもらうために、この巡見を企画しました。

烏川沿いも歩くので、雨や風、それに伴う寒さなどを心配していましたが、結果的には天候に恵まれ大変穏やかな1日でした。また、ありがたいことに応募者多数であったため、事務局の方で12名に絞らせていただいたのですが(うち1名は体調不良でご欠席)、そのなかには4名の学部生も参加していました。もちろん、市民の皆様が多くご応募いただいたことも大変喜ばしいのですが、学部生の皆さんにも興味を持ってもらったことは、コーディネーターとしても嬉しく思った次第です。



＜視察の様子：倉賀野神社＞

以下、当日の大まかなタイムスケジュールになります。

午前9時10分に大学から後援会のバスに乗り、車内にて鈴木より簡単な倉賀野の歴史を説明して、現地(倉賀野緑地駐車場)へと向かいました。なお、現地では倉賀野出身の私のゼミ生(高橋里湖さん、細村和花さん)にも同行いただき、住民目線で話をしてもらいました。午前中は旧中山道沿いおよびその近隣に残る旧家の様子や倉賀野河岸跡、井戸八幡宮、そして冠稲荷神社などを見学、説明し、高崎市倉賀野おもてなし館に到着しました。そこで高崎市観光ガイドの会会長の三澤憲一さん(倉賀野在住)に、宿場としての倉賀野についてミニレクチャーをしていただき、その後、昼食となり

ました。なお昼食は、元市役所職員で本学にも勤務されていた永田和也さんがオーナーを務められる「さんぼ屋」さんをお願いをしてカレーを作っていただきました(永田さんにも一言、お話しいただき



＜高崎ゲストハウス&カフェ さんぼ屋 永田 和也 氏＞

ました)。

午後は九品寺や本地跡・脇本陣跡などを見学し、倉賀野神社へ向かいました。神社では高木直明宮司のご厚意で特別に本殿へとあげていただき、そこで倉賀野神社に関するご説明をいただきました。その後は倉賀野城跡を確認し、バスに乗って群馬の森へと向かいました。ここは戦前・戦中と岩鼻火薬製造所の一部だったため、今でもその名残を見ることができます。そうした名残を確認するため、群馬の森をぐるっと1周しました(まだ朝鮮人労働者追悼碑もありました)。そして16時過ぎに群馬の森から大学へと引き返し、解散となった次第です。

全体としては少し詰め過ぎたところと、逆に必要以上にゆっくりしてしまった箇所とがあったのは反省点ですが、概ね、参加者の皆様からは好評だったと聞いております。

今後ですが、高崎(あるいは群馬県)の歴史「再発見」の楽しさを知る、という命題のもと機会があれ引き続きこのような機会を設けたいと思った次第です。また、今後もし担当できるのであれば、本

学に限らず市内の大学生・大学院生なども参加できるような企画を引き続き考えたいと思っております。

最後にこの地域めぐりのために、下見の同行から見学先への折衝までご担当くださった地科研事務局(研究支援チーム)の高橋史郎さん、井野翔紀さん、そして何より参加者の皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。有難うございました。

鈴木 耕太郎(地域政策学部准教授)

事業報告④ 公開シンポジウム

公開シンポジウム

「『ものづくりシティ』高崎の躍動」

2024年2月28日(水)に地域科学研究所主催のシンポジウムが開催された。『地方製造業の躍進』(2022年)では収録できなかった2020年以降のコロナ禍での中小企業経営の現状を、経営者の方を中心に語っていただくことが主題となった。

シンポジウムは製造業プロジェクトの趣旨説明、高崎市、群馬県、群馬経済研究所、ジェトロ群馬などの支援機関による現状報告に続き、株式会社秋葉ダイカスト工業所、株式会社荻野製作所、群栄化学株式会社、株式会社ヌカベ、八木工業株式会社の経営者、責任者によるパネルディスカッションが行われた。矢野修一教授(地域科学研究所所員)による軽快なコーディネートで、グローバル化、デジタル化、働き方改革による賃上げにどう対応しているのかが議論された(以下は、筆者のメモに基づくものなので誤解もあるかもしれない)。

グローバル化については、「ローコストではなく、現地調達にこだわる。必要な顧客がいるかどうかだ」、「日本だけでサプライチェーン守るのは難しいので複数の経路を持つことが必要だ」、「円安前提でものづくり考えると、輸出しやすい。日本に入ってきたものを修理するなど発想の

転換を行う」などの回答があった。デジタル化については、「AIを使った外観検査や機械加工の検査ができないか研究を進めている」、「微細な傷の発見は難しいが、組み立て時のエラーはチェックできる」などの回答があった。働き方改革については、「インドネシアやベトナムからの技能実習生を今後も受け入れていく」、「マネージャークラスになるような高度人材としての外国人材に注目している」、「まずデジタル化で生産性を上げ、次に外国人材活用を考える」などの回答があった。

『日本経済新聞』2024年1月27日付によれば、群馬県では物価上昇率を上回る規模で賃上げを行っている。群馬経済研究所調査でも、2023年度に県内企業の78%強が賃上げをしたか、実施予定である。中小企業経営者が労使関係を重視し、賃上げ環境を整備することで、地域内の消費が上向き、好景気に向かう条件を作る。ご登壇いただいたパネリスト企業の方々は、厳しい経済環境の中で、地域に根を張って活動することの自負を感じさせた。



<パネルディスカッションの様子>

今回のシンポジウムでは、研究支援チームが中心となり、高崎商工会議所や企業関係者との日程調整、シンポジウム当日の招待者対応、受付や機材準備、タイムキーピングなど多くの作業を行った。充実したシンポジウムとなったのは研究支援チームの用意周到な準備があったからである。事前登録段階で100人を超える参加者申し込みが

あり、うち8割は信用金庫などの金融機関関係者、高崎市内の企業関係者であった（当日参加は約120名）。シンポジウムが始まる前、会場内のあちこちで、企業関係者が意見交換をしている光景を見て、こうした場所を提供することも大学として大事な役割であることを改めて認識させられた。

地域科学研究所の製造業プロジェクト第3弾は藤本哲教授（地域科学研究所所員）を責任者として「地方製造業のデジタル化」をテーマに調査研究が進んでいる。高崎地域の中小製造業の魅力を発見し、発信し、共有することが期待される。

永田 瞬（経済学部教授）

第40回公開講座アンケート調査結果報告(12/13)

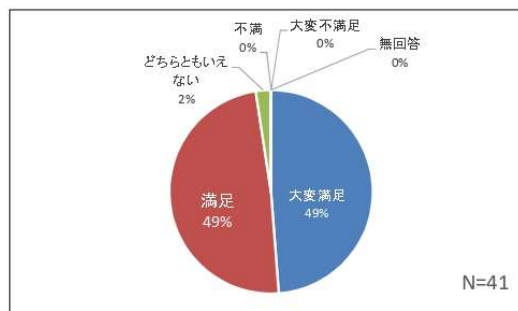
受講後、アンケート調査を実施した。
[有効回答数：41人（回収率：85.42%）]

出席人数 48人

問1. 満足度

【単位：人】

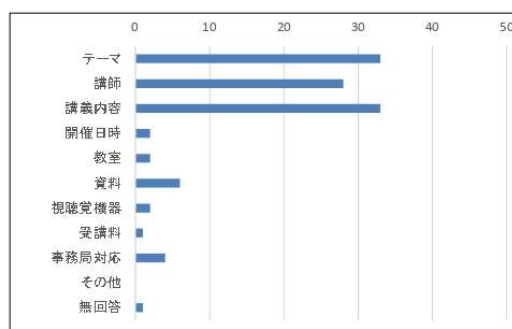
大変満足	20
満足	20
どちらともいえない	1
不満	0
大変不満足	0
無回答	0
合計	41



問2. 問1で「大変満足」「満足」と回答した方が評価する点（複数回答可） や講師に向けての感想（自由記入）

【単位：人】

テーマ	33
講師	28
講義内容	33
開催日時	2
教室	2
資料	6
視聴覚機器	2
受講料	1
事務局対応	4
その他	0
無回答	1



- ※ 一般的な意見だけでなく、講師の考えやオススメする文化施設を知ることが出来てとても良かったです。ありがとうございました。
- ※ 文化政策について理解することができました。
- ※ 地方でアートを育む意義とその方策。
- ※ 文化という抽象的な表現(?)を、行政的な立場から問題点、事例を挙げての内容は興味深く受講できた。
- ※ 大変分かりやすい講義でよかったです。
- ※ 文化とは人の心を豊かにするものと思っていますが（そこまででした）、それを維持するための文化政策やそれに尽力されている沢山の方がいらっしやると知りました。また課題も多くあり、難しい問題と認識しました。ありがとうございました。
- ※ 日頃、あまり考えないようなことを学べた。やはり多様性が重視される時代なので、文化的なものに軽重はないですね。
- ※ 各自治体の具体的な事例を通して、文化に対する公的支援の根拠、並びに文化政策をめぐる課題について、より深く理解できたから。
- ※ アートに興味をもっているの、講義内容に気がつかされた。
- ※ とても聞きやすく、良かった。
- ※ 綺麗事に止まらず、充実した内容だった。文化行政や個々のケースについても、もっと詳しくお聞きしたかった。
- ※ 文化施設に携わっていました。専門職主体で運営されていたときは関係者が自由に意見を言える雰囲気がありましたが、行政職の意見が強くなると、県の上層部からの意見が“火の用心”のように降りてきてしまいます。館を利用する人のことは考えていないようにも感じました。
- ※ 今まであまり意識したことのない分野であるが、奥深い問題等が内在していることが分かったこと。
- ※ 『文化』について考えた事がなく、文化事業と行政の取組みについても考えた事がなく新鮮だった。

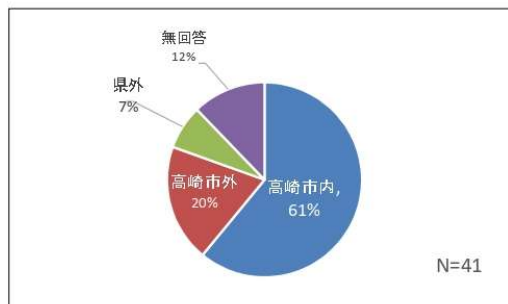
問3. 問1で「どちらともいえない」「不満」「大変不満」と回答した方が指摘される点
(自由記入)

※ 回答なし

問4. 通学・通勤・所属先の地域

【単位:人】

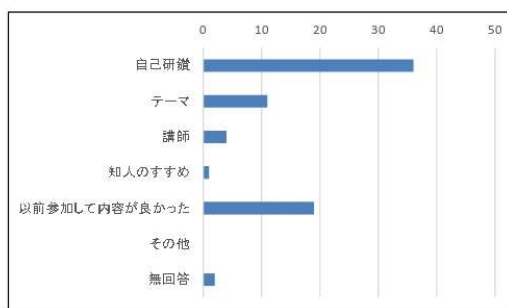
高崎市内	25
高崎市外	8
県外	3
無回答	5
合計	41



問5. 受講の理由 (複数回答可)

【単位:人】

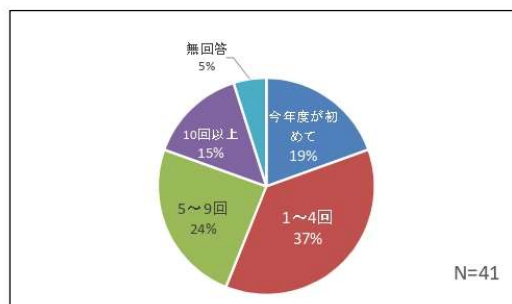
自己研鑽	36
テーマ	11
講師	4
知人のすすめ	1
以前参加して内容が良かった	19
その他	0
無回答	2



問6. 昨年度までの受講回数 (連携公開講座も含む)

【単位:人】

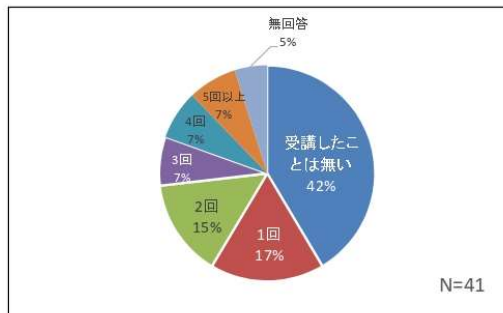
今年度が初めて	8
1~4回	15
5~9回	10
10回以上	6
無回答	2
合計	41



問7. 春季連携公開講座の受講回数

【単位:人】

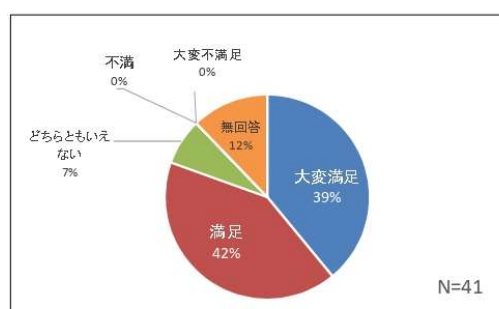
受講したことは無い	17
1回	7
2回	6
3回	3
4回	3
5回以上	3
無回答	2
合計	41



問8. 今回講座の全体的な満足度

【単位:人】

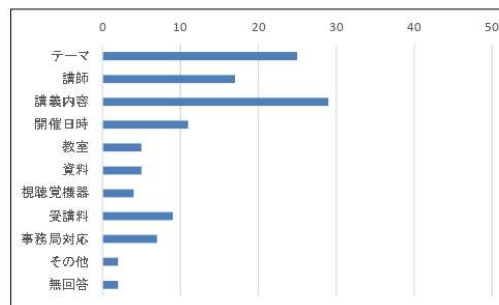
大変満足	16
満足	17
どちらともいえない	3
不満	0
大変不満足	0
無回答	5
合計	41



問9. 問8で「大変満足」「満足」と回答した方が評価する点 (複数回答可)

【単位:人】

テーマ	25
講師	17
講義内容	29
開催日時	11
教室	5
資料	5
視聴覚機器	4
受講料	9
事務局対応	7
その他	2
無回答	2



※その他

- ・オンラインで参加出来たのがよかった。
- ・ZOOMで参加できたこと。夜間の場合は、足となる車の運転が少し困難。

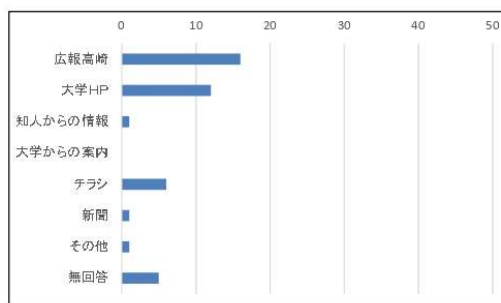
問10. 問8で「どちらともいえない」「不満」「大変不満」と回答した方が挙げた改善すべき点 (複数回答可)

- ※ 取り上げたテーマの内容が不明確 (不勉強のため)
- ※ テーマによる。
- ※ 18:15開始だとより嬉しいです。18:00だと、仕事が終わった後ギリギリなので。

問11. 本講座をお知りになったきっかけ（複数回答可）

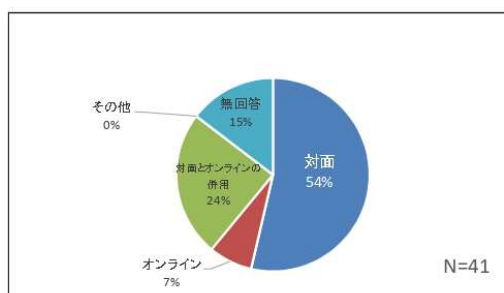
広報高崎	16
大学HP	12
知人からの情報	1
大学からの案内	0
チラシ	6
新聞	1
その他	1
無回答	5

※その他・・・インターネット 1名



問12. 今後の公開講座に参加する場合、希望する受講スタイル

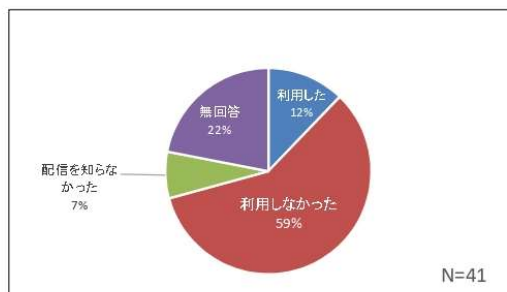
対面	22
オンライン	3
対面とオンラインの併用	10
その他	0
無回答	6
合計	41



問13. 今回初のオンデマンド（録画）配信の利用状況

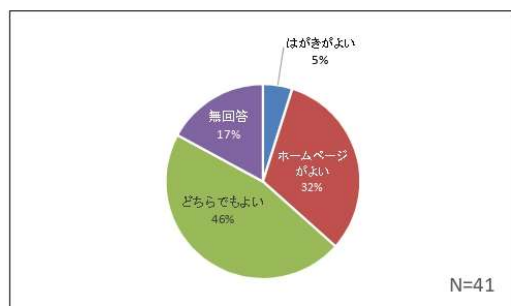
利用した	5
利用しなかった	24
配信を知らなかった	3
無回答	9
合計	41

※利用した回数
 1回・・・2名
 2回・・・1名
 4回・・・1名
 8回・・・1名



問14. 広報高崎での公開講座の申込案内の方法について

はがきがよい	2
ホームページがよい	13
どちらでもよい	19
無回答	7
合計	41



2023年度・地域経営セミナー受講者アンケート

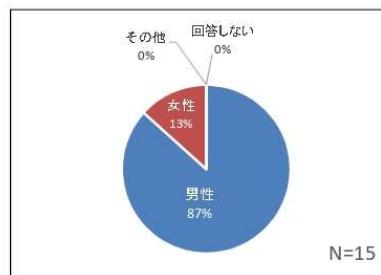
(受講者 28人 [対面14人、オンライン14人])

[有効回答数：15人 (回収率：53.57%)]

回答者の性別

【単位：人】

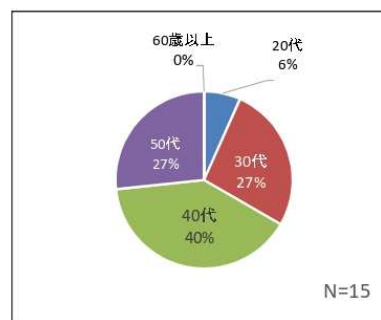
男性	13
女性	2
その他	0
回答しない	0
合計	15



回答者の年齢

【単位：人】

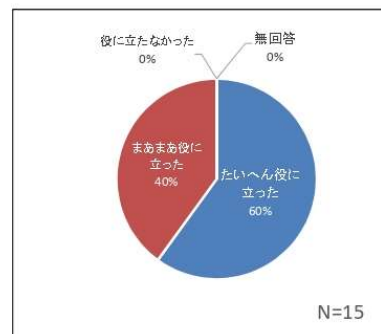
20代	1
30代	4
40代	6
50代	4
60歳以上	0
合計	15



質問1. 本日の講演は日頃の業務に役立ちましたか

【単位：人】

たいへん役に立った	9
まあまあ役に立った	6
役に立たなかった	0
無回答	#REF!
合計	#REF!



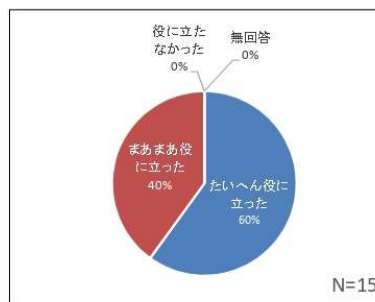
- ※ 今後の業務に活かしたい。
- ※ 東京都の大きい規模感を、本市に置き換えたら人材・資源が足りないと思いました。
- ※ 都の部長の生の話が聴けて、本当に良かったです。大学に感謝申し上げます。
- ※ 実情など生の声を聞けて、非常に参考になった。
- ※ 各部局で個別のデジタルの仕掛けを考えているだけであり、全体的な管理ができるPSブックの様な仕組みが素晴らしいと思いました。
- ※ 東京都の最先端の取組を幅広く知ることができたのはとても良かったです。ただ、他の自治体で同じことをやろうとしても困難なため、人や予算が少ない自治体でもできること、優先して取り組むべき内容などを、もう少し打ち出していただけると良かったです。

質問2. 本日のセミナーの総合討論について

【単位：人】

たいへん役に立った	9
まあまあ役に立った	6
役に立たなかった	0
無回答	0
合計	15

※ ぜひ次回も参加したい。

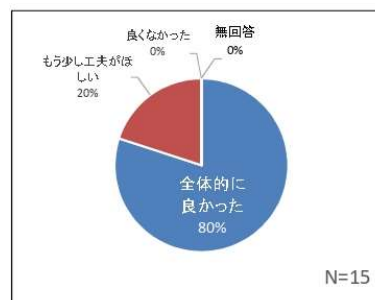


質問3. 本日のセミナー全体の評価について

【単位：人】

全体的に良かった	12
もう少し工夫がほしい	3
良くなかった	0
無回答	0
合計	15

- ※ 他市町村の実例について知れて参考になった。
 - ※ 資料をカラーで作成されているので、印刷もカラーでお願いしたい。
 - ※ 問1の記述にも重なりますが、群馬県の自治体で実践していくための工夫などを入れていただくと、よりよいセミナーになると思います。
 - ※ 具体例を多く提示してほしい。
 - ※ オンライン受講者も含め、ディスカッションの場を双方向性の活発なものにするのであれば、受講者全体への事前告知による意識付けが必要に思う。
- 当日、急にチャット上で「できればビデオオンに」と言われても戸惑うだけだし、オンライン受講者のビデオオンを望むなら、会場受講者側の映像も常に表示されていることが前提でないと、単に晒し者感を味わうだけで居心地が悪い。
- 「ハイブリッド方式」とは、ある程度の下準備のもとで当日を迎えた上で、受講者とともにセミナーの場を作っていくことで生み出されるものであると思う。
- 現状の高経大の各種セミナーはハイブリッドではなく、単に「会場とオンライン配信の二方式」なだけであると思う。

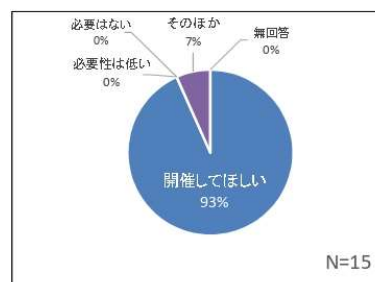


質問4. (自治体職員対象のセミナー) 今後も開催した方がよろしいでしょうか

【単位：人】

開催してほしい	14
必要性は低い	0
必要はない	0
そのほか	1
無回答	0
合計	15

※ オンラインも含めて双方向性のセミナーが行えるのであれば、それこそが高経大というアカデミックな場だからこそできるものであり、ぜひ受講したい。行政が実施するのと同じようなセミナーならいい。



質問5. 今後、このセミナーで取り上げてもらいたいテーマや講師名など

※ 具体的なテーマ要望は無いのですが、普段の業務で研究者の方のお話を聞く機会があまりないので、そういったアカデミックな内容の講義が聞けるとありがたいです。

第15回地域めぐり（宿場町・倉賀野宿を見る、歩く）アンケート調査結果報告

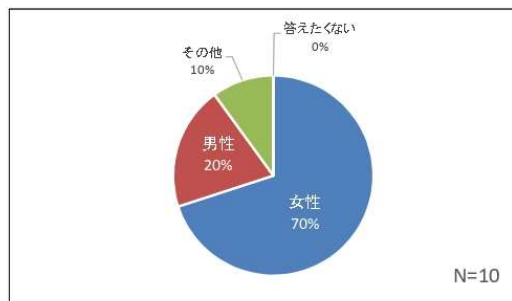
2023/12/9の講座終了時にアンケート調査を実施した。
 [有効回答数：10人（回収率：100.00%）]

参加人数 10名

問1. 性別

【単位：人】

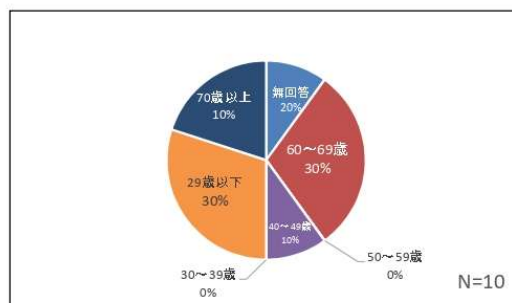
女性	7
男性	2
その他	1
答えたくない	0
合計	10



年齢

【単位：人】

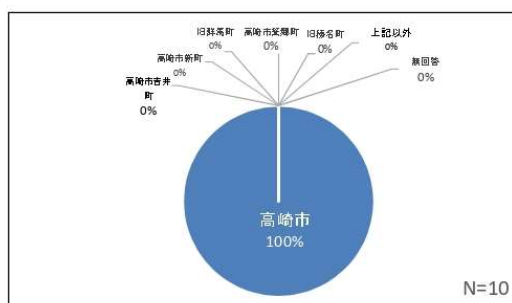
70歳以上	1
60～69歳	3
50～59歳	0
40～49歳	1
30～39歳	0
29歳以下	3
無回答	2
合計	10



お住まい

【単位：人】

高崎市	10
高崎市吉井町	0
高崎市新町	0
旧群馬町	0
高崎市箕郷町	0
旧榛名町	0
上記以外	0
無回答	0
合計	10

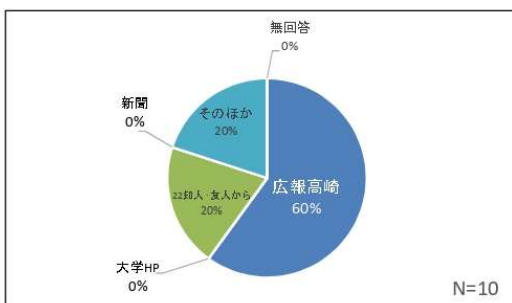


問2. 本企画を知ったきっかけ

【単位：人】

広報高崎	6
大学HP	0
知人・友人から	2
新聞	0
そのほか	2
無回答	0
合計	10

*そのほか
 ・大学メール 2名

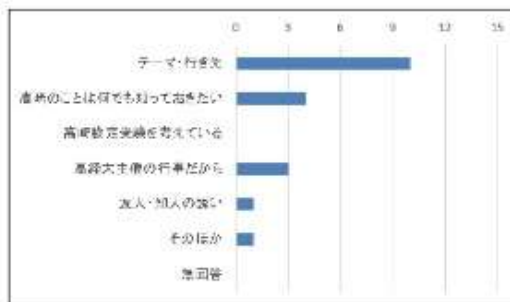


問3. 参加の動機 (複数回答可)

【単位:人】

テーマ・行き先	10
高崎のことは何でも知っておきたい	4
高崎検定受験を考えている	0
高経大主催の行事だから	3
友人・知人の誘い	1
そのほか	1
無回答	0

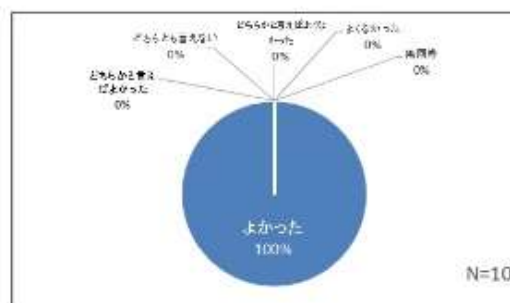
* そのほか
・群馬にいる間に様々なことを行いたい。



問4. 参加された感想

【単位:人】

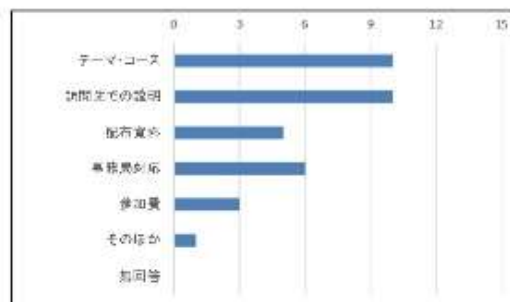
よかった	10
どちらかと言えばよかった	0
どちらとも言えない	0
どちらかと言えばよくなかった	0
よくなかった	0
無回答	0
合計	10



問5. 問4で「よかった」「どちらかと言えばよかった」と回答された方が評価する点 (複数回答可)

【単位:人】

テーマ・コース	10
訪問先での説明	10
配布資料	5
事務局対志	6
参加費	3
そのほか	1
無回答	0



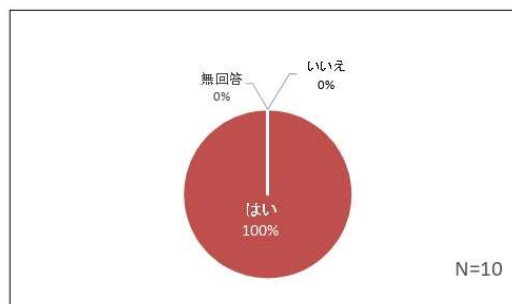
- ※ (三澤さんへ) 本陣と協本陣にはどこの藩主が主に使ったかを触れて欲しかったです。
- ※ 説明を受けながら散歩すると、より歴史や伝統を感じられて楽しかった。
- ※ 先生をはじめ、倉賀野(高崎)ガイドの会長さん、宮司さん、経大生のお二人など、それぞれの目線で倉賀野町を紹介して下さい、深みがありました。
- ※ 倉賀野について詳しく知ることができた。
- ※ 知らなかったことが色々知ることができました。
- ※ 家に帰ってよく復習したいです。他の地域についても興味を持ちました。
- ※ 倉賀野神社でお話を聞いたのが良かった。
- ※ 一人で歩いているだけでは、わからないようなことが知れた。

問6. 問4で「どちらかと言うとよくなかった」「よくなかった」と
お答えいただいた方の理由

アンケート回答なし

問7. 地域めぐりにまた参加したいですか

	【単位:人】
いいえ	0
はい	10
無回答	0
合計	10



どのようなテーマやコースの地域めぐりに参加したいですか。

- ※ 三国街道と鎌倉街道
ありがとうございました。また、よろしくお願いします。
- ※ 前橋などの他の都市や、都市と都市の関わりについて知れたら、もっと面白いと思う。
- ※ 歴史にも興味があるので、地域の成り立ちをからめた街歩きを期待しています。
近場であれば、前橋市総社周辺、松井田（横川）の鉄道の廃線跡、吉井や藤岡をセットで、あるいは、児玉町もとても興味があります。
本日は楽しかったです。ありがとうございました。
- ※ 水上に行く。榛名山の方に行く。こんにゃくパークに行く。
- ※ ・高崎城下町
・箕輪城下町
・古墳
・旧中山道等の街道
- ※ 街道めぐり・宿場めぐり他、歴史に関連したテーマであれば是非参加したいと思います。
本日はありがとうございました。
- ※ 宿場めぐり良いですね！
- ※ 高崎の市街地も歩いてまわってみたい。

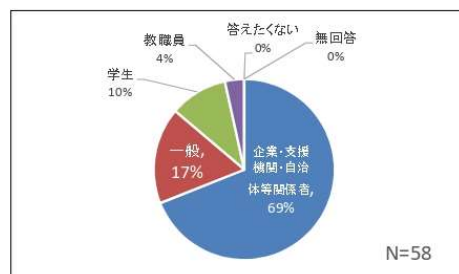
2023年度公開シンポジウム（「ものづくりシティ」高崎の躍動）アンケート調査結果報告

2024/2/28のシンポジウム終了時にアンケート調査を実施した。参加人数 119名
 [有効回答数：58人（回収率：48.70%）]

問1. 所属・属性

【単位：人】

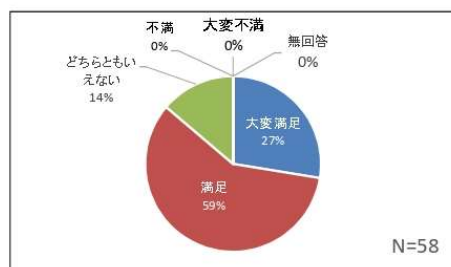
企業・支援機関・自治体等関係者	40
一般	10
学生	6
教職員	2
答えたくない	0
無回答	0
合計	58



問2. 本日の満足度

【単位：人】

大変満足	16
満足	34
どちらともいえない	8
不満	0
大変不満	0
無回答	0
合計	58

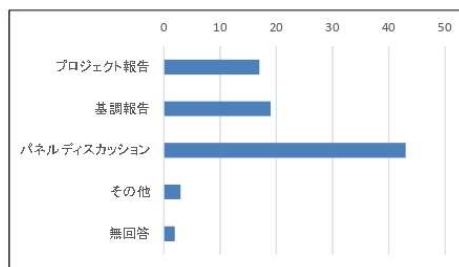


問3. 問2で「大変満足」「満足」とお答えいただいた方の評価する点（複数回答可）

【単位：人】

プロジェクト報告	17
基調報告	19
パネルディスカッション	43
その他	3
無回答	2
合計	84

※その他
 ・パネルディスカッションのテーマを具体的に3つ設定した点。
 ・荻野社長、良かったです。

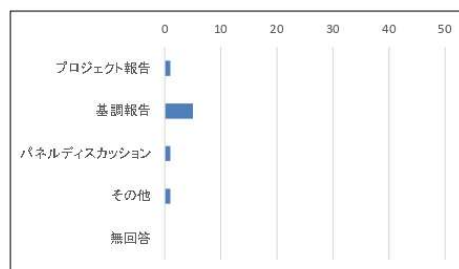


問4. 問2で「どちらともいえない」「不満」「大変不満」とお答えいただいた方の理由（複数回答可）

【単位：人】

プロジェクト報告	1
基調報告	5
パネルディスカッション	1
その他	1
無回答	0
合計	8

※その他
 ・時間が短く、また早口で聞きづらかった。分かりづらかった。
 ・企業紹介にもう少し時間をとっていただきたかった。
 ・パネルディスカッションの時間が短く、会社紹介のみで
 もったいないと思いました。
 ・パネルディスカッションに満足しなかった。



問5. 上記への回答の理由や本日の感想

- ※ 各企業の現状や課題、これからの展望など知ることが出来た。
発言者に女性がひとりもないのは、どうしてなのか？
- ※ 内容的には分かりやすかったが、一般的な内容が多かった。もっと専門的な内容、提案を期待していたが、概略的な内容が多かった。
海外展開に対して事例や課題は良く分かるが、これを推進していくためにも、もっとスピード感を持った取り組み、提案、解決策のヒント等があれば良かった。
- ※ ものづくりシティ高崎の底力を感じさせる内容で、興味深く聞かせていただきました。
企業の立地の経緯やものづくりについて、歴史風土などの話を聞けると幸いです。
開始時間はもう少し早くしていただきたい。
- ※ パネラー企業様の経営に対する特色の違いが感じられました。成長企業の経営者様の経営感覚を学べて良かったと思います。
- ※ 産学連携の状況を知ることは地域生活者にとってとても大切です。多くの市民にもこのような機会を提供できると良いと思います。今日の内容はYouTube等で提供されるのでしょうか？
- ※ 普段聞けない話で大変興味深かった。
色々な企業の様々なテーマで、パネルディスカッションをしてもらいたい。
- ※ ここでしか聞けない話が聞けて良かった。
- ※ 高崎市内の製造業の皆様のパワーに共鳴しました。
中小企業の皆様海外進出については、より深掘りしたことを聞きたいと感じました。
- ※ パネルディスカッションで、すべてを質問の回答でなくて、パネリストの方の主張や思いも聞きたいと思いました。教室が寒かったです。
- ※ パネルディスカッションは各社の取り組みや色々な話が聞けて良かった。コーディネーターの進行が良かったです。リーマンショック、コロナ、ウクライナ等の世界情勢が、高崎の中小企業にも大きな影響をもたらしていることを感じました。
- ※ もう少しじっくり聞きたかったです。皆さん、急ぎ足で大変そうでした。
貴重な機会、意見をお聞きでき、ありがとうございました。
- ※ パネルディスカッションでは、皆様の本音のお話がお聞きできて、大変ためになりました。
- ※ 基調報告の時間が短く、早口でよく理解出来なかった。パネリストが同業（製造・金属加工）で答弁がほぼ同じで参考にならない。
- ※ 社長の方々の経営や経済状況に対するお話を聞くことができ、非常に興味深かったです。
- ※ 普段聞くことができない話を聞くことができました。ものづくりの立場から見ると高崎は、製造業を知るきっかけになりました。今後の動向に注目していきます。
- ※ 県内先端企業のテーマ別取り組みについて、生の声が聞けて、大変参考になりました。
- ※ パネルディスカッションにおいて、事前質問用紙を使わせていただいたおかげで、人前での質問に抵抗を持つ私であつても、聞きたいことを聞くことができました。
ありがとうございました。
- ※ 経営者の本音が拝聴出来て良かったです。
- ※ 各企業の海外事業展開における苦勞や企業努力を伺えた。
- ※ 高崎の企業が直面している様々な環境変化に対し、どのような問題意識を持ち、対応されているのかを知ることができ、大変勉強になりました。
- ※ デジタル化、働き方改革が参考になりました。
- ※ ・グローバル事業のリアルなお話が聞けた。各企業の社長のお話を直接聞くことができた。
・海外拠点をもつ会社に2つの考え方があったことが面白かった。
日本でのやり方が、マザー工場を作ってから、海外拠点に展開。改善の積み重ね、生産性改善。
海外拠点が日本へ展開。ルールを変える。売価を変える。やり方を変える。
海外に拠点があると、その両方にチャレンジしやすい。
- ※ 各企業の説明、もう少し時間があれば良かったと思う。あるいは、説明する項目を絞り、各社同じ項目のみ説明してもらい、残りはペーパー配布としたらどうか。
- ※ 本日は大変ありがとうございました。今後とも宜しく願っています。
- ※ 毎年の開催を希望します。又、幅広く企業紹介をしていただければ良いと思います。
- ※ 本日はありがとうございました。次回も参加したいと思いますので、企画よろしく願います。
- ※ 守秘したいようなことをお答えしておられる感じを受ける。
日本の常識を海外に適用することの危うさを危惧。業界により海外との付き合い方が異なることを学ぶ。
- ※ パネルディスカッションで企業の代表の率直な意見等を聞くことができ、大変参考になりました。
ありがとうございました。
- ※ パネルディスカッションとは、パネリストに順番に回答させるのを繰り返すことではないと思う。
せっかくのパネリストを集めておきながら、コーディネーターの力量不足が際立つパネルディスカッションで、つまらなかった。
- ※ 各社の資料は欲しかった。
- ※ 不確実性の高い経済環境下における皆様のご苦勞が身に染みだしたシンポジウムでした。大変勉強になりました。
研究所スタッフの皆様のご尽力の賜物かと存じます。
今後とも高崎、群馬から経済の今を理解できる研究活動とイベントに期待しております。

地域科学研究所動静

- ・ブックレット第10号『スポーツで高崎を変えるーソフトボールシティへの挑戦ー』, 第11号『地方都市における中心市街地の課題ー人口減少時代とまちづくりー』を発行しました。近日中に, 本学ホームページで公開するとともに, 市役所1階及び本学図書館にて, 無償配布させていただきます。
- ・地域科学研究所紀要「産業研究」第59巻第2号を発行予定です。今号では, 論文2本, 研究ノート2本, 地域経済レポート1本を掲載予定です。発行後は本学ホームページ(リポジトリ)よりご覧いただけます。

編集後記

私が地域科学研究所の事業に携わらせていただくようになってから、早くも1年が経とうとしております。昨年の春の連携公開講座から関わらせていただいたのですが、新型コロナウイルスによる制限が緩和された時期でもあり、イベントを開催するごとに参加者が増え、活気が戻り、そのたびに皆様の学びに対する熱意を感じてまいりました。

1年間を通してイベントを開催できたことは、関係各位の多大なるご尽力と、ご参加くださった皆様によるものであると思っております。来年度も皆さまに学びの場をご提供できるよう、事務局一同準備を進めて参ります。(SI)

高崎経済大学地域科学研究所

ニュースレター No.23

発行 2024年3月31日

群馬県高崎市上並榎町 1300(〒370-0801)

TEL(027)344-6267 FAX(027)343-7103

E-mail : chiikikagaku@tcue.ac.jp

©TIRS